

2023年度(令和5年度)の日事連の取り組み予定

- 日本建築士事務所協会連合会/BIMと情報環境WG
- 2023.3.28第10回建築BIM推進会議



1. 日事連のBIM普及・教育に対する姿勢

- 第1回BIM推進会議で提示した5策

策1: BIM活用の裾野を広げる(◎)

策2: 建築士事務所の活用能力を高め、積極活用を支援(◎)

策3: BIMの社会的基盤をつくる(＊)

策4: ベンチマークとなるプロジェクトをつくる(＊)

策5: 未達成の社会課題に取り組み、未来社会を先取りする

→ ＊は、国土交通省建築BIM推進会議にて取り組み、あるいは連携。

→ ◎は、現在のBIMの普及状況、日事連会員事務所の約8割が30人以下の事務所である現状に即し、中小事務所に資する普及に関する活動に注力。

2. 活動予定内容

【今年度の活動内容】

- 前回会議で報告済み

【来年度活動予定】

- BIM活用アイデアコンペティションの開催
- 会誌連載記事にて、BIMの導入経緯や活用事例等の情報を提供
- BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化
- 研修プログラムのさらなる整備と展開を計画

3. 活動予定

BIM活用アイデアコンペティションの開催

BIM利用による設計コンペを主催し、建築士・学生に対し、BIM活用への意欲の喚起、BIM活用能力の向上・積極活用のきっかけとすることを目的に、2014年より開催。

2019年度より、学生だけでなく社会人にも対象を拡大し、毎年開催している。



2021年度最優秀賞 「-Link Unit-」



2022年度最優秀賞 「ふいに「みる」」

3. 活動予定

BIM活用アイデアコンペティションの開催

主管単位会が栃木、福岡、宮城と展開してきたことにより、コンペ応募者を増やし裾野を広げ、BIM活用の可能性を拡大した。

また、運営にあたって各地の建築士事務所協会が行政と適切に連携して要項を作成し、BIMがもたらす効果を見える化し、BIM普及への意識づけ、あるいはBIM活用のリーダー育成に、着実に取り組んできている。

来年度は大阪での開催を予定している。

マロニエコンペティション サイトURL

→<https://www.marronnier-bim.com/>

3. 活動予定:会誌「日事連」での連載を継続

BIMの普及促進を目的として、最新情報の紹介、基礎知識の提供など、幅広い視点からBIMやAIをめぐる記事を掲載。2カ月に1度の連載で、現在までに通算23回掲載。

これまでは各地の中小事務所を中心に、BIMの導入経緯や活用事例、BIMを活用した今後の事業展開などの記事を掲載していたが、今後はさらに具体的なプロジェクトでの活用事例や、建築士事務所経営転換事例、建築界における普及の取り組み事例などを紹介してゆく予定。

<https://www.njr.or.jp/aboutus/magazine/>
(詳細はお問い合わせください)



続

BIMで変わる、BIMで変える —BIMをとことん使いこなそう!—

この連載では、建築ジャーナリストの樋口一希氏の案内でBIMの最前線の動きを紹介してきました。第2回は、BIMを実際に使ってこなす建築士事務所が登場いただき、設計プロセスの合理化だけでなく、建築士事務所の新質実業に人々に活用した実体験をお伝えします。これは、BIMの可能性の扉を開けてみたら、そこには、建築界や社会もまるごと変えてしまうという可能性が満ちていた、というお話です。みなさん、BIMを理って完結になりましょう!
(BIMと特産産産アークグループ)

■23■ もう2DCADには戻れない

 佐山 希人
山崎建築研究所一級建築士事務所
(神奈川県)

BIM 導入のきっかけ

私がBIMで建築設計をするようになったきっかけは、今からもう5年ほど前になりますでしょうか、旧知の施工店に実務見習いを依頼したときのことでした。その担当者が打ち合わせのために、かなり正確な3Dモデルを用意してきました。基礎図面や各床図面、軸組図を3Dにして、ノートパソコンを使いながら疑問点を質問してきたのです。見えにくいところは、3Dモデルをぐるぐる回しながら質問してきたので、ポイントが分かりやすいと今でも記憶に残っています。

また、同時期に別のプロジェクトのお客さんから、「こんな建物内部の様子が分かるような資料があると理解しやすいのですが」と、あるデベロッパーが作成した建築の3Dパースを見せられました。このようなことが立て続けに起こり、いよいよ自分で3Dモデルを作成できるようになりたいと思い始めました。

その3Dモデルで疑問をぶつけてきた施工担当者から詳しく情報を聞いたところ、SketchUpという3Dモデルに特化したアプリケーションで描いたことが分かりました。私も何度か設計中の図面を基に3Dモデルを描いてみましたが、なぜかしっくりきませんでした。その理由は、3DモデルはSketchUp、作図作業はVectorworksで行っていたため、作業量が増える

だけだったからです。私は30年以上前、独立する時に前職の退職金を投入しMacintoshとMiniCad(のちのVectorworks)で設計を始めました。当時は、またWindows OSが誕生しておらず、PCで設計活動をするのであれば、ユーザーインターフェイスに優れていたMacintoshとMiniCadの組み合わせ一択でした。一度、MacとMiniCadで設計活動を始めた他のOSやCADに移行することが難しく、そのまま現在に至っているというのが実情です。そのため、3Dモデリングを日常業務に取り入れていくには、VectorworksのBIMを活用するというのが私にとっては最善の選択でした。

BIMのメリット

2018年春、いよいよVectorworksのBIMを導入することにしました。使い慣れていたVectorworksとはいえ、BIMとなるとそれまでの2Dとは概念と作業内容がガラリと変わりました。結論から言うと、その時点で思い切ったBIMに移行して良かったと思っています。数多い良かつた点のうち2点をお伝えします。

良かつた点の1つ目は、図面を大量の線で描くという作業量が激減したこと。VectorworksのBIMは、主に「スペース」という平面形状の概念と「ストーリー」という高さの概念で構成されます。「スペース」

3. 活動予定:

BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化

BIMの初心者からBIMを活用した業務を展開したい設計技術者、BIMを活用している建築士事務所を探している建築主やインターンシップ先を探している学生など、BIMに関わる幅広い方々を対象としたBIM情報ポータルサイトを制作し、運用を開始。



3. 活動予定:

BIMポータルサイト「BIM GATE」の充実化

研修やコンペ、連載などの蓄積も含めたデータベースとしており、BIM普及のこれまでの道程とリンクし、これからの展開の基盤となっている。

今後も広く活用されるよう、なお一層の充実を図っている
ので、情報提供やリンク、運営アドバイスも期待している。

BIM GATE サイトURL

→<https://bimgate.jp/>

3. 活動予定:

研修プログラムのさらなる整備と展開を計画

これまで複数年度にわたり、研修プログラムを作成して各単位会に提供し、主として入門的な内容で開催してきたが、実務者や設計事務所の開設者、管理建築士などの資質を高める意図で研修を充実させる。

ご清聴ありがとうございました